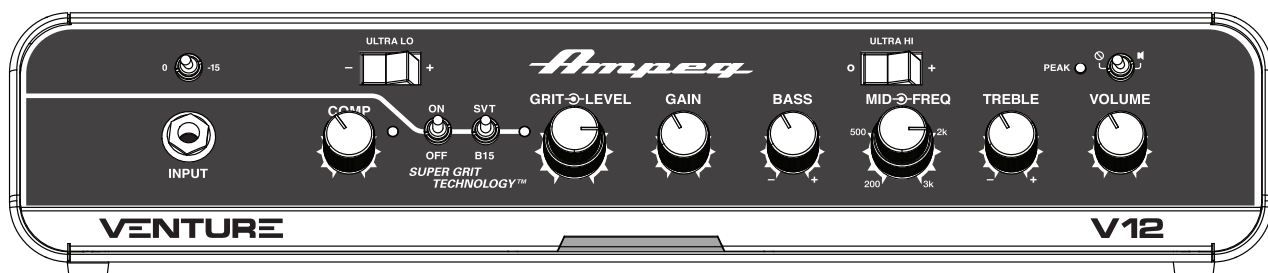
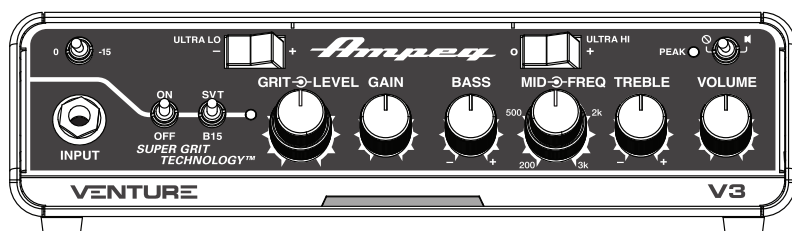


# Ampeg®

## VENTURE

V3、V7、V12ベースアンプ

クイックスタート・ガイド



ヒューズにはさまざまな種類があります。交換でタイプの異なるヒューズを使用した場合、機能不全、感電や出火を引き起こすおそれがあります。交換ヒューズの電気定格および仕様が適切であるかを必ず確認してください。

数字と記号は、それぞれ下記を表わします：

例：T3AL250V

① T、② ● A、③ Lと④ ■Vが以下に示されています。

① 溶融時間 / 電流特性を示す記号 T: タイムラグタイプ、F: 高速作動タイプ。

② ● A: 定格電流。

③ ブロッキング容量を示す記号 L: 低カットオフ・キャパシティ、E: 中カットオフ・キャパシティ、H: 高カットオフ・キャパシティ。

④ ■V: 定格電圧。

**© 2023 Yamaha Guitar Group, Inc. 禁複製・無断転載。**

Ampeg、Ampegロゴ、Venture、Portaflex、SVT、SGTとSuper Grit Technologyは、Yamaha Guitar Group, Inc.の米国および(または)その他の地域でのトレードマークまたは登録商標です。Neutrikと speakONはNeutrik AG Corporationの登録商標です。

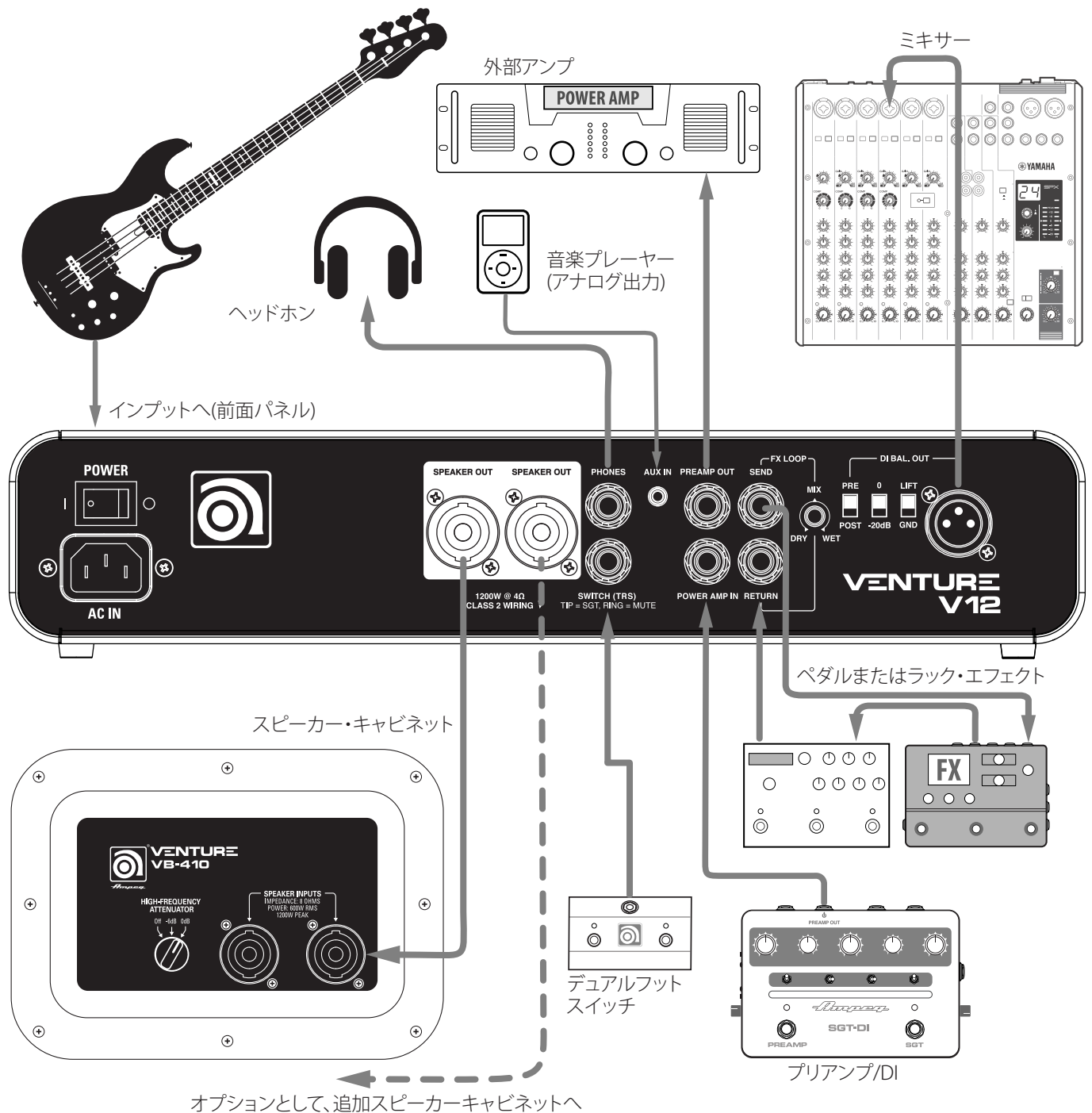
モデルとシリアルナンバーは製品ラベルをご参照ください。下記の数字を記録しておいてください。またこのドキュメントは大切に保管してください。

機種番号: \_\_\_\_\_  
シリアル番号: \_\_\_\_\_

## 同梱品

Ampeg® Venture® V3、V7またはV12アンプ、電源ケーブル、クイックスタートガイド

## 接続例



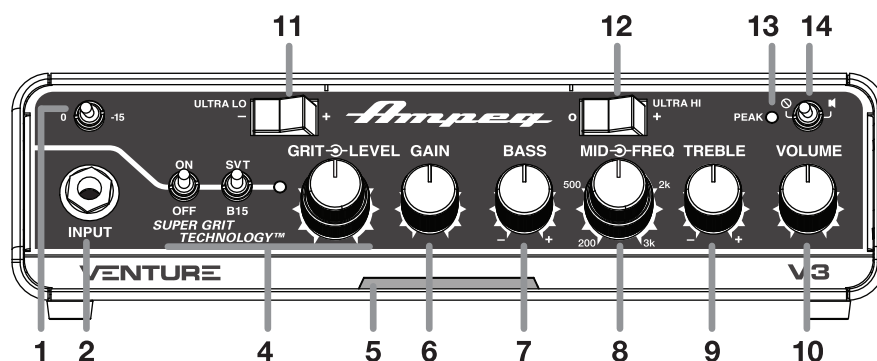
なお、PREAMP OUT、POWERAMP IN、および追加のSPEAKER OUT機能は、Venture V7およびV12アンプモデルでのみ利用可能です。

## はじめに

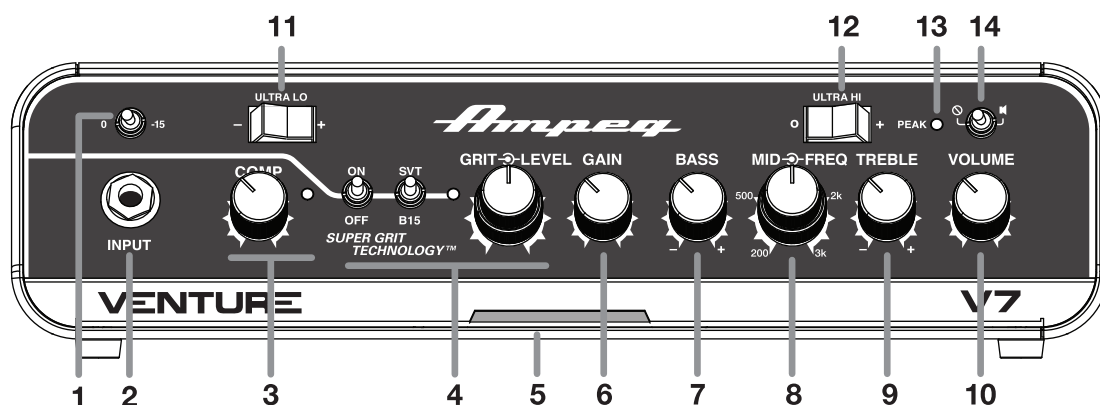
1. ご使用の前に、同梱の「安全上のご注意」をよくお読みください。
2. 接続の前に、POWERスイッチがオフになっていることを確認してください。
3. 同梱の電源ケーブルを、アンプのAC INコネクタにしっかりと差し込み、電源コンセントに差し込みます。アンプの許容電圧は、リア・パネルをご参照ください。
4. 楽器を、6.3mm(シールド)ケーブルで、INPUTジャックに接続します。
5. すべてのコントロールを完全に「オフ」にした状態で、POWERスイッチを“ON”に切り替え、アンプの電源を入れます。
6. 楽器を演奏しながらVOLUMEノブを動かし、レベルを調節します。
7. EQノブと各スイッチで好みの音に調節します。

## フロント・パネル

V3



V7



V12



## 前面パネルの説明

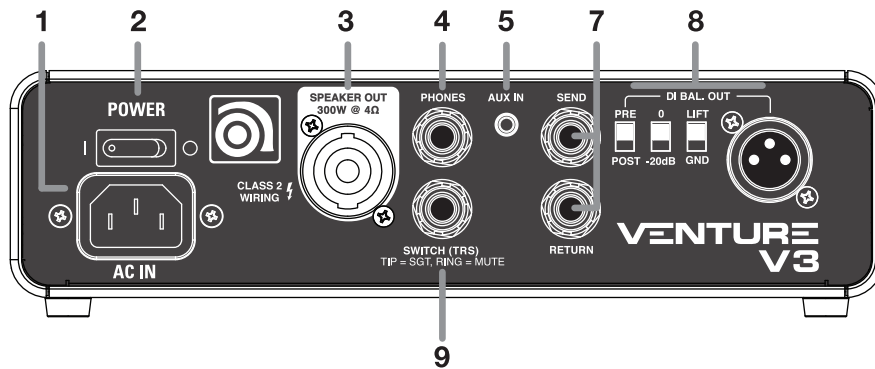
1. **0/-15dB スイッチ:** このスイッチは、最適な入力レベルの設定に使用します。一般的には、高出力ピックアップやアクティブエレクトロニクスを含む楽器、あるいは頻繁にPEAK LED[13]が点灯する場合には-15dBに設定します。
2. **6.3mm INPUT:** この入力にはパッシブまたはアクティブ楽器を接続します。0/-15スイッチ[1]を使用して、入力レベルを設定します。
3. **COMP:** (V7、V12) ノブを時計回りに回すと、信号にかかるコンプレッサーが調整されます(最大電圧比 10:1)。コンプレッサーをオフにするには、ノブを最小にセットします。右のLEDは、入力レベルがコンプレッサーのスレッシュホールドを越え、ゲイン・リダクションが適用された場合に点灯します。
4. **SGT™回路 (Super Grit Technology™) 回路:** SGT回路は、信号にクラシックなAmpegオーバードライブを追加する場合に使用します。
  - ON/OFF スイッチ:** SGT回路のオン/オフを切り替えます。(または、リアパネルのSWITCHジャックに接続されたフットスイッチで切り替えることもできます。この場合、前面パネルのスイッチは無効になります。)
  - SVT/B15 スイッチ:** レジェンドのSVT®あるいはPortaflex® B-15チューブ・アンプのキャラクターに基づいて、オーバードライブの「フレーバー」を切り替えます。
  - SGT GRIT/LEVEL ノブ:** この同心二重ノブでは、グリット・レベル(内側のノブ)と、回路出力レベル(外側のノブ)を個別に調節できます。
5. **POWER/MUTE インジケータ LED:** このLEDバーライトは、アンプの電源が入ると青に点灯し、MUTEスイッチ[14]が入っている場合赤に点灯します。
6. **GAIN:** プリアンプへ送る信号レベルを調節します。
7. **BASS:** アンプの低周波レベルを調節します。40Hzを最大14dBブーストまたは14dBカットできます。低周波の出力は、センター位置ではフラットです。
8. **MID/FREQ:** 同心の二重ノブの外側のコントロール(FREQ)は、ミッドレンジ周波数の選択を行います。また内側のコントロール(LEVEL)は、選択されたミッドレンジ周波数を、およそ14dBブーストまたはカットできます。
9. **TREBLE:** アンプの高周波レベルを調節します。4kHzを最大17dBブーストまたは14dBカットできます。高周波出力は、センター位置ではフラットです。
10. **VOLUME:** アンプの全体的な出力レベルをコントロールします。SPEAKER、PHONES、PREAMP出力に影響します。
11. **ULTRA LO 3ウェイ・スイッチ:** スイッチの左側を押し込むと、低周波40Hzの出力を20dBカットします。ULTRA LOを解除するには、センター位置に戻します。ローエンドの出力レベルを増強するには、右側を押し込むことで、40Hzを2dBブースト、500Hzを10dBカットします。
12. **ULTRA HI 2ウェイ・スイッチ:** スイッチの右側を押し込むことで、高周波8kHzの出力を9dBブーストします。
13. **PEAK LED:** このLEDは、入力信号が強すぎる場合に点灯します。\*(必要に応じて-15dbスイッチを使用することで、入力レベルを下げることもできます。)
14. **MUTE スイッチ:** アンプの出力をミュートするには、このスイッチを左側に押します。ミュートの挙動については、下記の表を参照してください。POWER/MUTEインジケータLED[5]は、このスイッチが入っている場合、赤に点灯します。(オプションで、リア・パネルのSWITCHジャックでミュートを切り替えることもできます。)

### MUTE挙動

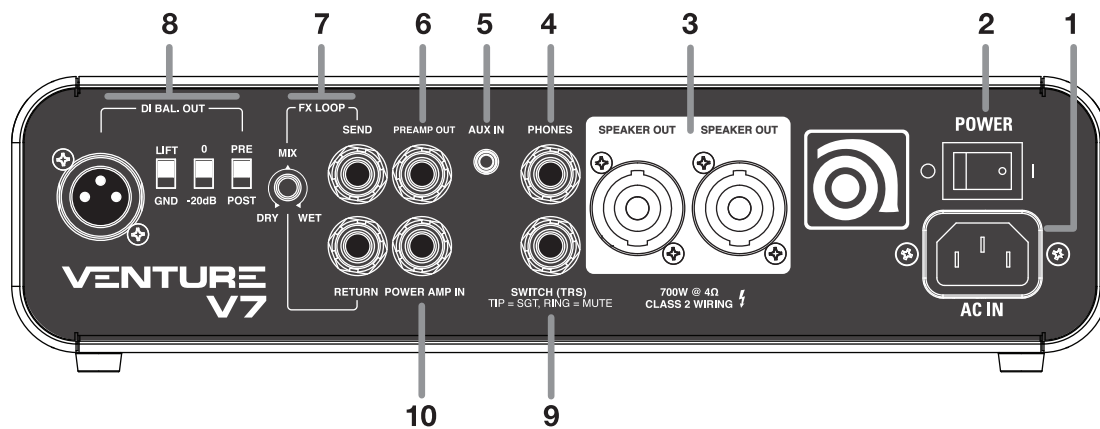
MUTEスイッチが入っている場合:	V3	V7	V12
ミュートされる出力	SPEAKER OUT FX LOOP SEND DI BAL OUT		SPEAKER OUT FX LOOP SEND DI BAL OUT PREAMP OUT
ミュートされない出力	PHONESに出力されるAUX IN信号 (その他すべての入力信号は、PHONES出力ではミュートされます)		

# リア・パネル

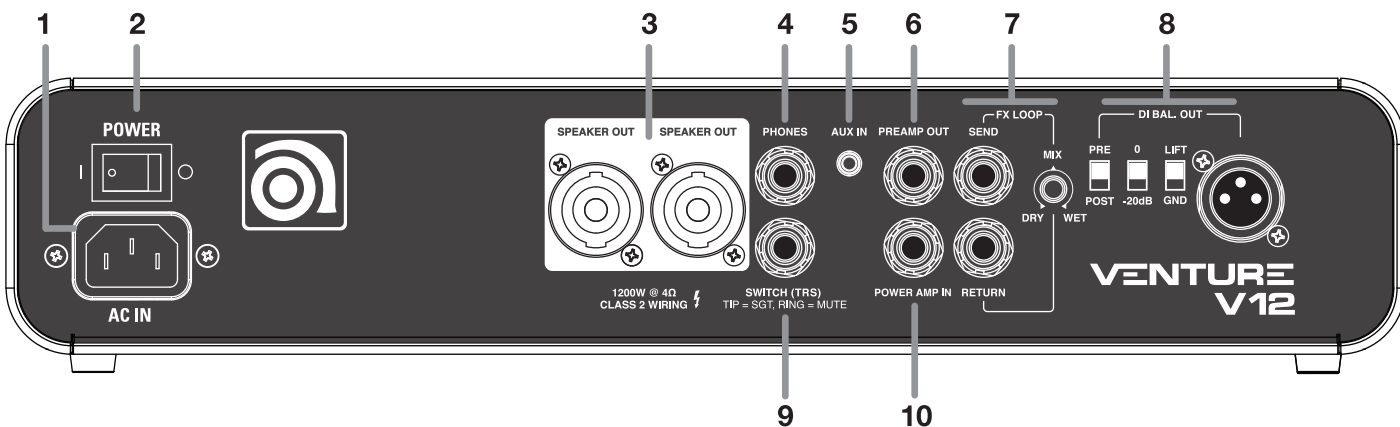
## V3



## V7



## V12



## リア・パネル説明

1. **AC IN電源ケーブルコネクタ:** 同梱のIEC電源ケーブルを適切にアースされたAC電源コンセントに接続します。
2. **POWER スイッチ:** アンプ電源のオン (I)・オフを切り替えるには (O)、このスイッチを使用します。
3. **スピーカー出力:**



**重要!** Ventureシリーズアンプは、過熱、過電流および高周波数バーストを防ぐための、さまざまな保護機能を含んでおり、長期的にアンプの安全かつ安定したオペレーションを守ります。ユニットが保護モードに切り替わった場合、10秒間で自動的に復元されます。

**SPEAKER OUT (V3):** Neutrik® speakON® - 6.3mmコンボジャックから、外部スピーカー・キャビネットに接続します。アンプとキャビネットの間の接続には、接続を安全にロックし、優れた高電流と、低ノイズのパフォーマンスを得られるよう、NL2 speakONケーブルを使用することが推奨されます。オプションとして、シールドなしの6.3mm TSケーブルも使用できます。スピーカーのトータル・インピーダンスが、4Ω以上であることを確認してください。\*

**SPEAKER OUT (V7、V12):** speakONタイプのケーブルを使用して、NL2 speakONジャックから外部スピーカー・キャビネットに接続します。2つの出力は、パラレルになっており、両方を使用することも、いずれか1つのみを使用することもできます。\* スピーカーのトータル・インピーダンスが、4Ω以上であることを確認してください。例えば、次のように接続できます: 2x16Ω スピーカー(8Ω)、2x 8Ω スピーカー(4Ω)または1x 4Ωスピーカー



**注:** 1つのスピーカー出力から複数のキャビネットに接続する場合、必ず同等の公称インピーダンスのスピーカーを使用してください。

Ventureスピーカー・キャビネットの関連資料については、[ampeg.com/support/manuals/](http://ampeg.com/support/manuals/)をご参照ください。

4. **PHONES:** ヘッドホンはこの6.3mm (TRS) ステレオ出力に接続することで、フロント・パネルのINPUTジャックからの信号と、アンプに入力されたライン・レベルの音声のミックスをモニターできます。



**重要!** 聴覚を守るため、ヘッドホンを接続する前に、必ずアンプのVOLUMEを最低レベルにあわせておいてください。



**ヒント:** ヘッドホンで音を聞きながら「静かに」練習する場合は、SPEAKER OUT[3]を外しておくことができます。Ventureシリーズ・アンプは、スピーカーなしで使用しても問題はありません。

5. **AUX IN:** 携帯デバイス、MP3やCDプレーヤーのようなラインレベル音源からの音声出力をこのアナログ、3.5mm TRS ステレオ入力に接続することで、ヘッドホンで音を聞きながら、楽曲の再生に合わせて練習することができます。AUX INからの信号は、PHONES出力からのみ再生されます。音源デバイスの出力を、最適なAUX INレベルに調整してください。
6. **PREAMP OUT:** (V7、V12) この6.3mmアンバランス・ジャックから、外部パワーアンプに、プリアンプ回路の信号を送信できます。このジャックには、シールドされたTS楽器用ケーブルを使って接続します。
7. **FX LOOP:** FX LOOP SENDとRETURNはライン・レベルです。

**SEND:** 6.3mm TSアンバランス・ケーブルを使用して、外部エフェクト・プロセッサの入力に接続します。SEND出力は、VOLUME以外のすべてのコントロールの影響を受けます。FX LOOPのRETURNジャック[7]を使用し、戻ってきた信号を、パワーアンプに送信します。

**RETURN:** 6.3mm TSアンバランス・ケーブルを使用して、外部エフェクト・プロセッサの出力に接続します。あるいは、外部プリアンプやその他の機器の出力からRETURNジャックのみに接続することで、Ventureのパワーアンプに入力することができます。\*



**ご注意:** SENDに何も接続されていない状態で、RETURNを入力として使用した場合、前面パネルINPUTジャック、GAIN、COMP、SGT、EQノブとスイッチは無効となります。

**MIX:** (V7、V12) エフェクト・ループが使用されている場合、このノブを回すと、ダイレクト(DRY)と、エフェクト(WET)のミックスを調節できます。最小に設定すると、純粋なダイレクト・シグナル(エフェクトなし)が得られます。最大に設定すると、純粋なエフェクト信号(直接信号なし)が得られます。右いっぱい位置まで回すと、直列エフェクト接続と等しくなります。





**ご注意:** Venture V3は、固定された、シリアル構成のエフェクト・ループを含んでいるため、FX MIX操作は必要ありません。

**8. DI BAL 出力&スイッチ:** このXLR/バランスジャックを使用すると、アンプの出力を、外部ミキサーあるいはレコーダーの入力、または外部パワーアンプあるいはパワー・スピーカーに直接送信できます。DI出力は、アンプのVOLUMEノブ操作に影響を受けません。PRE/POST、0/-20dB と GND/LIFT スイッチで、DI出力の設定をします。

**PRE/POST スイッチ:** DI バランス出力の信号を、以下のようにアンプの各コントロールや構成部の「プリ」または「ポスト」いずれの位置から抽出するかを、このスイッチで設定します。

- **PRE位置(上):** -15dB入力パッド、トーン・コントロール、SGT、エフェクト・ループはDI信号から除外され、これらの影響を受けません。
- **POST位置(下):** -15dB入力パッド、GAIN、トーンコントロール、SGT、エフェクトループはDI信号に含まれ、これらの影響を受けます。

**0/-20dB Pad スイッチ:** このスイッチを下に押すと、DI BAL出力が20dB下がります。

**GND/LIFT スイッチ:** 必要に応じてこのスイッチを上にする、DI BAL出力のハムノイズを低減することができます。

**9. SWITCH (TRS):** Ampeg AFP-2やAFS2など、デュアル・フットスイッチを接続すると、リモートでSGT回路(チップ)およびミュート(リング)のオン/オフを切り替えることができます。Ampeg AFP-1などのTSシングルフットスイッチを接続する場合、SGTのオン/オフを切り替えることができます。\*(または、ほとんどのメーカーの「ラッチタイプ」フットスイッチも使用できます)



**\*ご注意:** フロントパネルのSGTオン/オフスイッチは、SWITCHジャックにフットスイッチが接続されている場合は無効となります(フロントパネルのMUTEスイッチは、フットスイッチが接続されていても有効です)。

デュアル・フットスイッチを使用する場合、TRSケーブルが必要です。シングル・フットスイッチの場合、適切にご使用いただくには、TSケーブルが推奨されます。1のボタン・フットスイッチをTRSケーブルで使用すると、ミュート回路がオンになり、解除することができないといった問題が生じる恐れがあります。

**10. POWERAMP IN:** (V7、V12) この6.3mmアンバランス・ジャックを使用することで、外部プリアンプの出力を直接Venture/パワーアンプに送信できます。外部プリアンプの出力から楽器用シールドTSケーブルをこのジャックに接続します。プラグがこのジャックに差し込まれた場合、内部プリアンプ信号はオフになります。

## 技術仕様

### VENTUREベース・アンプ

機能	V3	V7	V12
定格出力@ 1% THD (@ 4Ω)	100~240V= 310W	100-240 VAC = 700W	100V= 1032W 100~240V= 1220W (出力の差は100Vと240Vの2つの間でそれぞれ1dB未満)
パワーアンプ	クラスD - ICEpower (スイッチ)		
電力要件	100~240V 50/60Hz 最大450W	100-240V 50-60Hz 最大1000W	100V 100~240V 50/60Hz 最大1600W
寸法(高さx幅x奥行)	65.1 x 231 x 267.1mm	78.1 x 290 x 273.8mm	78.1 x 370 x 273.8mm
重量	1.77kg	3,10kg	3.76kg

すべての仕様は変更される場合があります。

Ventureアンプは、最適なパフォーマンスと換気のため、スピーカー・キャビネットまたはその他硬い表面の上のオープンエアへの設置を想定しています。作動中のユニットを、ラック、箱、またはその他の入れ物に入れて使用する場合は、すべてユーザーの自己責任で行なってください。





## 保証とサポート

[www.ampeg.com](http://www.ampeg.com) では…

- (1) …各地域でご利用いただける保証をご確認いただけます。ご購入時のレシートは大切に保管してください。
- (2) …完全版の印刷用**オーナーマニュアル** (英語版のみ)をダウンロードできます。
- (3) …製品のご登録
- (4) …テクニカルサポートへのお問い合わせ

## ご購入・お取扱いに関するお問い合わせ窓口

ヤマハミュージックジャパンお客様コミュニケーションセンター

ギター・ドラムご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)

**TEL 0570 - 056 - 808**

上記番号でつながらない場合は**053 - 533 - 5003**におかけください。

受付時間 月曜～金曜 **10:00～17:00** (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メール**Web**フォーム:

ヤマハ日本語**HP**ホーム > サポート > お問い合わせ > 楽器お問い合わせ > ギター・ベース・ドラム

## 修理に関するお問い合わせ窓口

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)

**TEL 0570 - 012 - 808**

上記番号でつながらない場合は**053 - 460 - 4830**におかけください。

受付時間 月曜～金曜 **10:00～17:00** (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メール**Web**フォーム:

ヤマハ日本語**HP**ホーム > サポート > 修理相談 > その他商品 (**BODiBEAT、TENORI-ON**等 電気音響商品)

## 輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

LM営業部 輸入マーケティング課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

**TEL 03 - 5488 - 6195**

[www.ampeg.com](http://www.ampeg.com)

Yamaha Guitar Group, Inc.

26580 Agoura Road, Calabasas, CA 91302-1921 USA

Part No. 40-00-0557 Rev B

